

本展では、中田勇吉と安川慶一、さらに柳宗悦、棟方志功ら民芸運動家との交流から見てくる富山の民芸運動の広がりの様子を紹介し、富山市に民芸館が設立されるに至った流れを改めて確認します。また、安川旧蔵の棟方志功作品と安川制作の木工作品をはじめ、当初展示品を含む安川の蒐集品を紹介します。さらに今回、安川によって改修が行われた南砺市福野の山田家住宅洋館（登録有形文化財）について、現在の当主山田正彦氏による調査で発見された新たな知見を紹介します。安川は、1938（昭和13）年と1964（昭和39）年の2回に改修を手がけており、その際の設計図をはじめとする貴重な資料とともに、現在も山田家が所蔵する安川作品や、安川の蒐集品なども展示。これらの展示をとおり、初代館長であった安川の多岐にわたる業績とともに、富山の民芸運動の一端を広く知ってもらふ機会となれば幸いです。

富山市民俗民芸村内関連展示

観覧料：1館につき大人100円 高校生以下無料

◎企画展「茶木屋中田家の業業」

会場：売薬資料館 Tel (076) 433-2866

会期：6月14日～9月23日

中田家の生業、薬種商茶木屋の歴史を紹介。『中田家開祖三百八十年記念』1951（昭和26）年刊（柳宗悦著「中田家」所収、装丁芹澤銑介）を展示します。

「法被（印半纏）」
売薬資料館蔵
中田家旧蔵



◎企画展「やきものの模様」

会場：陶芸館 Tel (076) 433-8610

会期：7月18日～11月16日

企画展の一部に、安川慶一の旧蔵品の陶磁器約10点を展示します。



白磁細首徳利 伊万里（佐賀県）白釉流し掛け雲助徳利 小石原（福岡県）江戸時代 陶芸館蔵



記念講演会「安川民藝建築の源流 福野山田家との縁」

講師：山田正彦氏（工学博士 全国通訳案内士 富山近代史研究会会員 山田家第11代当主）

本展の開催を記念し、これまで知られていなかった安川慶一の建物改修を取り上げる記念講演会を行います。1929（昭和4）年に南砺市福野に竣工した、福野出身の世界的建築家吉田鉄郎の設計による山田家住宅洋館の、安川による2度に渡る改修をピックアップし、山田家第11代当主正彦氏が2020（令和2）年から福野に赴き専門家と調査を継続している体験をもとに語ります。

日時：8月3日（日）13:30～15:00

会場：民俗民芸管理センター講座室

費用 / 予約：参加無料 / 申し込み不要

※講演会参加者に民芸館・民芸合掌館の展示解説会の入館整理券を配付します。



山田家住宅洋館窓辺の鍋島段通（3枚の内の1枚）
山田家蔵

展示解説会

会場：民芸館・民芸合掌館

日時：8月3日（日）15:30～16:00

費用 / 1館につき観覧料必要 / 予約不要

ワークショップ

「六角形の組子細工制作体験」

講師：澤田信治氏（建具一級技能士 建具工房さわだ主宰）

本展を記念し、富山の伝統工芸である「組子細工」の木工作体験ワークショップを行います。

対象：幼児から大人までどなたでも

参加費：1人2000円

日時：8月9日（土）・10日（日）

両日とも10:00～、11:00～、13:00～、14:00～

会場：民俗民芸管理センター講座室

講演会・ワークショップの問合せ：Tel (076) 433-9215 簗牛人記念美術館



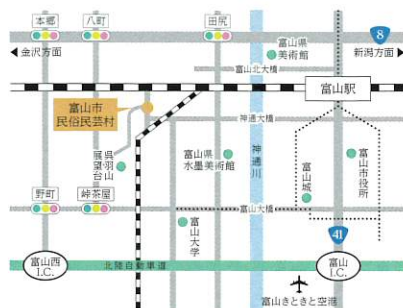
登録有形文化財山田家住宅洋館の見学ツアー情報

福野山田家住宅洋館の建物内の見学会が希望に応じて日程を調整の上行われています。

会場：南砺市福野新町1363 参加無料、定員10名、予約必要

問合せ：(0763) 23-2014 南砺市ブランド戦略部

文化・世界遺産課または050-3133-6964 山田



山田家住宅洋館床の間の壁上部にある安川作八角形の透かし飾り



棟方志功作「花びんと花（樽図）」1944（昭和19）年2月22日棟方が安川宅に宿泊した翌朝、お礼に安川宅で描いた。民芸館蔵（安川旧蔵）



安川式スピンドルチェアの置かれた世田谷区美術館分館向井潤吉記念館展示室。向井潤吉画伯が自ら購入したもの。写真提供：世田谷区美術館 撮影者：上野則宏



安川式スピンドルチェア（松本民芸家具製・個人蔵）



傘立て（安川作・個人蔵）
同型品が日本民芸館、福野山田家、安川宅に使用されている。

富山市民芸館・民芸合掌館

富山市安養坊1104（富山市民俗民芸村内） TEL&FAX(076)431-6466 <https://www.city.toyama.toyama.jp/etc/minzokumingei/>

【交通のご案内】車/JR富山駅から約10分（駐車場無料） 地鉄バス/富山駅前⑦番のりば「新桜谷町」行き「安養坊」下車徒歩5分

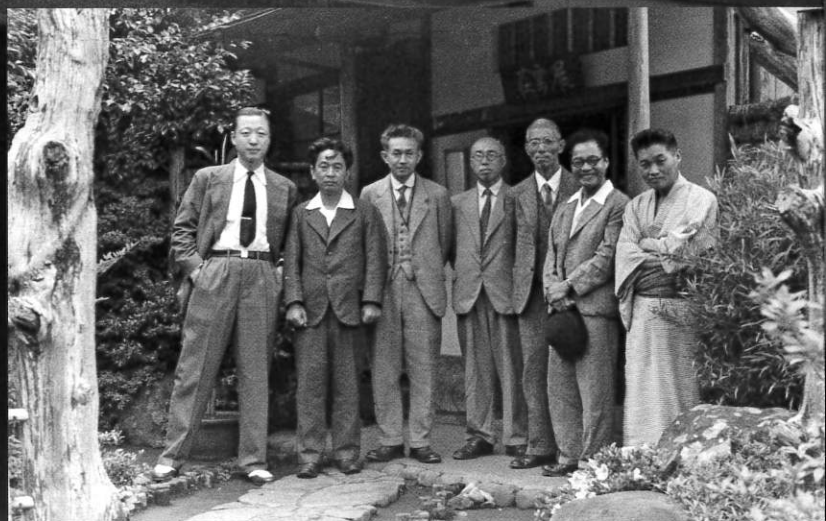
〈開館時間〉9:00～17:00（入館は16:30まで）
〈観覧料〉1館につき大人100円・高校生以下無料

富山市民芸館開館60年記念特別展 「富山と民芸運動」

Toyama Folk Art Museum 60th Anniversary Special Exhibition "Toyama and the Folk Craft Movement"

2025.7.26 (sat) -10.28 (tue)

富山市民芸館は、1965（昭和40）年6月に富山市安養坊に開館し、2025（令和7）年に開館60年を迎えました。この建物は、富山の茶種商茶木屋16代中田清兵衛（勇吉）が、父15代清兵衛の米寿を記念して、岐阜県飛騨市神岡町にあった板蔵を移築し、富山市に寄附したものです。初代館長であった安川慶一は、民芸運動の提唱者、柳宗悦との出会いをきっかけに、民芸運動に生涯を尽くした木工作家です。その後、隣接地に1969（昭和44）年に民芸合掌館が、1981（昭和56）年に陶芸館が開館し、これら民芸系3館を含む文化集落は現在、富山市民俗民芸村として活動しています。



1949（昭和24）.6.17～18頃 展覧荘にて左より中田勇吉（16代清兵衛）、安川慶一、柳宗悦、濱田庄司、河井寛次郎、横方志功、志功の支援者の島丈夫 展覧荘は伊東市岡永道山にあった島家の別荘
写真と解説提供：河井寛次郎記念館

富山市民芸館・民芸合掌館（富山市民俗民芸村内）

【お問い合わせ】 富山市安養坊1104 TEL/FAX (076) 431-6466 <https://www.city.toyama.toyama.jp/etc/minzokumingei/>